

えほんのへやだより No.1




赤ちゃんのおはなし会の様子

えほんのへやでは、毎週木曜日の午前11時から、おはなしボランティア「ととけっこう」による「赤ちゃんのおはなし会」を開催しています。毎回、わらべうたを中心に、親子でうたったりあそんだりします。(0歳児対象:11時～, 1歳児対象:11時半～)

えほんのへやでは、わらべうたを絵本の読み聞かせをはじめ前の段階において、とても大切なものと考えています。

♪ 「わらべうた」ってな～に? ♪

「わらべうた」は、むかしの人々の生活の中から生まれ、現在までうたい継がれてきたうたです。作詞・作曲者はいません。日本語のリズムと抑揚(イントネーション)に合っていて、半音がなく、5音階。音域がせまくて歌詞が短いので、赤ちゃんの耳にもなじみやすいのです。

おつきさま えらいの かがみのようになったり くのようになったり
はるなつあきふゆ にほんじゅうをてらす



じっと聞き入る赤ちゃんたち

わらべうたのリズムは、ほとんどが2拍子。お母さんのおなかの中で聞いていた心臓の音に近いので、子どもが心地よく感じるリズムと言われています。



よく知られている「かごめかごめ」「はないちもんめ」などのわらべうたは、子どもどうしてうたいながらあそぶものですが、「赤ちゃんのおはなし会」で使っているのは、大人が、子どもをあやしたりあそばせたりする「あそばせうた」と言われるわらべうたです。



赤ちゃんの場合、目(視覚)よりも耳(聴覚)の方が早くから発達すると言われています。耳から入るわらべうたの心地よいことばとうた、それにあそびが加わって、たっぷり愛情をもらった赤ちゃんは、やがて絵本の読み聞かせも自然に受け入れていきます。

次回は、わらべうたの持つ“力”についてお話します。



おはなしの時間...

わらべうたと絵本で子育てしませんか?